

ISSN 0910-9293

# 宮城県保健環境センター一年報

平成7年度

ANNUAL REPORT  
OF  
MIYAGI PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT

No.14 1996

宮城県保健環境センター

## はじめに

この度、宮城県保健環境センターの平成7年度における業績を年報として取りまとめましたので、お届けいたします。ご高覧のうえ、ご意見を賜れば幸いと存じます。

さて、最近の保健環境の問題は、地球規模での環境汚染、感染症などへの対策があげられます。

ところで当センターは昭和47年に建設され、既に20数年が経過しましたが昭和53年の宮城県沖地震の後遺症もあり、高水準の試験検査を行う施設としては問題があり、近い将来には新築あるいは改築の必要にせまられる状況にあります。

一方では、保健環境行政を支える情報のシンクタンク、技術的中核機関として、その業績の拡大や技術水準の高度化が強く求められております。

このことにより、地域保健環境の施策の向上を図るための科学技術的中核として、関連する試験検査、調査研究、情報の収集・解析・提供及び研修を着実に実施すると同時に地域住民の要望についての把握も重要な責務であり、施設の整備、拡充と技術の向上と、時代に相応した保健環境センターを目指してまいりたいと考えておりますので、皆様方のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

平成8年10月

宮城県保健環境センター

所長 長田 明光

# 目 次

## A 事業概要

### I 総 説

1. 沿 革	1
2. 機構及び業務分担	1
3. 職 員	2
4. 予算及び決算	3
5. 主要機械器具	3

### II 各部の概況

1. 情報管理部の概況	6
2. 微生物部の概況	9
3. 理化学部の概況	15
4. 環境衛生部の概況	22
5. 大気部の概況	25
6. 水質部の概況	29

## B 調査研究

### I 論 文

1. 食品汚染物モニターリングデータについて (第1報)	34
—— データ処理法と環境汚染物質に関するデータの分析 ——	
加藤 玲子 三浦 正隆 小室 健一 山本 仁	
2. 宮城県におけるウイルスン病パイロットスクリーニング	41
白石 廣行 菅原 優子 川野 みち 大浦 敏博	
3. 宮城県におけるインフルエンザ流行状況	46
—— 1991年から1995年までの検討 ——	
上村 弘 佐藤千鶴子 秋山 和夫 白石 廣行	
4. 平成7年度残留農薬実態調査	51
—— 農産物中フサライド、アラクロール、アシュラムの定量 ——	
加藤 玲子 新目 眞弓 三浦 正隆	
5. 農産物中47種残留農薬の一斉分析法について	55
新目 眞弓 加藤 玲子 三浦 正隆	
6. 食品残留合成抗菌性物質のHPLCによる一斉分析	62
大槻 良子 阿部 祐二 加藤 玲子 佐藤 勤	
三浦 正隆	

7. 黄砂現象に伴うSPM高濃度事例	66
—— 1993年4月のデータから ——	
佐藤 信俊 榎野 光永 吉田 徳行 加賀谷秀樹	
高橋 克壽 宮崎栄一郎	
8. 有機溶剤使用事業場の悪臭実態調査結果	70
新垣 康秀 高橋 剛 高橋 克壽	
9. 畑地に散布された殺菌剤クロタロニルと殺虫剤ダイアジノンの 流出特性について	74
柳 茂 高橋 正弘 佐藤真貴子 中村 朋之	
沢田 和夫 遠藤 哲男	
10. 栗駒ダムの水質特性	79
清野 茂 栗野 健 金野 由之 濱名 徹	
遠藤 哲男	
11. 七ヶ宿ダム上流域の環境特性と水質特性 (第1報)	87
—— 上流域の自然環境特性 ——	
清野 茂 金野 由之 濱名 徹 栗野 健	
遠藤 哲男	
12. 七ヶ宿ダム上流域の環境特性と水質特性 (第2報)	91
—— 上流域の水質特性 ——	
清野 茂 金野 由之 濱名 徹 栗野 健	
遠藤 哲男	
II 資 料	
1. 宮城県における新生児マス・スクリーニング	97
川野 みち 菅原 優子 白石 廣行	
2. 宮城県における6か月児神経芽細胞腫マス・スクリーニング	99
氏家 恭子 佐藤 由紀 泉 知子 佐藤千鶴子	
川野 みち 白石 廣行	
3. 宮城県における1歳6か月児神経芽細胞腫マス・スクリーニング	101
佐藤 由紀 氏家 恭子 泉 知子 佐藤千鶴子	
川野 みち 白石 廣行	
4. 1995年感染症サーベイランス事業	103
—— 病原体検出情報 ——	
微生物部 (文責: 荒井 富雄)	
5. 生あん及び原料豆中の含有シアン定量	105
佐藤 勤 三浦 正隆	
6. 医薬品及び医療用具の検査結果について (平成7年度)	107
大槻 良子 阿部 祐二 三浦 正隆	

7. 玄米のカドミウム分析の前処理法の検討	108
阿部 祐二    大槻 良子    加藤 玲子    三浦 正隆	
8. アンチモン (Sb) の分析法の検討	110
加藤 謙一    助野 典義	
9. チウラム分析時の遮光効果について	112
加藤 謙一    助野 典義	
10. 水質自動測定局モニター値からみた水質変動事例	114
清野 茂    金野 由之    栗野 健    中村 朋之	
柳 茂    遠藤 哲男	
11. 濁川水系通年水質調査結果 (平成7年度)	116
— 清水原橋 (環境基準補助点) —	
清野 茂    金野 由之    濱名 徹    栗野 健	
遠藤 哲男	
12. セツ宿ダム上流流入水水質調査 (第3報)	119
清野 茂    金野 由之    濱名 徹    栗野 健	
遠藤 哲男	
III 他誌投稿論文抄録	121
IV 学会発表	122
C その他	
I プロジェクト研究	124
II 研究発表会	125
III 談話会 等	127